

2005年『井戸の日』事業開催決定！！

富山県鑿井協会では、今年も北日本新聞社、富山・水・文化の財団と『井戸の日』実行委員会を組織いたしました。『井戸の日』事業の一環として、来年2005年(平成17年)1月10日(月)に『井戸の日』記念フォーラム2005を開催する事を正式に決定致しました。

今回の『井戸の日』記念フォーラム2005はとやま健康パーク(富山市友杉151番地)を会場に開催致します。テーマを『とやまの水と健康』とし、記念講演・パネルディスカッションを実施することを企画いたしました。今年にはアテネオリンピックキヤーであったこともあり、オリンピック関連の方を講師にお招きしたいと発願し、Nutrition Consulting WATSONIA代表・管理栄養士の川端理香氏を講師に決定いたしました。講演テーマは『トップアスリートに学ぶ健康のための食事と水分摂取』の予定です。また、パネルディスカッションにはコーディネーターとして、北日本新聞社より論説委員の奥田裕之氏を迎え、他のパネラーとしては基調講演の川端理香氏をはじめ、元県立大学短期大学部長の高倉盛安氏、(株)トンボ飲料取締役会長の翠田康志氏、健康スタジアム館長の永田晟氏の出演を予定しております。パネルディスカッションの

Ecoフレンド

Vol.11

【発行】平成16年12月
富山県鑿井協会

〒930-0892 富山市新庄町一丁目十九番号
☎(076)441-4257
Fax (076)441-4287
URL: <http://www.atw.ne.jp/~tomisaku/>
E-mail: tomisaku@atw.ne.jp



とやま健康パーク (パンフレット 会場写真)

テーマも『とやまの水と健康』を予定しております。私たちの暮らしの中で最も身近な水ではありますが、ともすると有難みを忘れがちであります。皆様にとつて、今一度自分の健康と水について考え直してみよう機会となり得ることを期待致します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

「井戸の日」記念フォーラム 2005

～とやまの水と健康～

日時 平成17年1月10日(月)

場所 とやま健康パーク

入場無料

基調講演

川端 理香 氏

Nutrition Consulting WATSONIA 代表・管理栄養士

パネルディスカッション

コーディネーター

奥田 裕之 氏

北日本新聞社論説委員

パネラー

川端 理香 氏

Nutrition Consulting WATSONIA 代表・管理栄養士

高倉 盛安 氏

元県立大学短期大学部長

翠田 康志 氏

(株)トンボ飲料取締役会長

永田 晟 氏

健康スタジアム館長

平成16年度富山県鑿井協会懇親会秋の宴 第9回TSAG杯開催報告

平成16年11月5日(金)第9回TSAG杯が午前9時20分より大間山カントリークラブにて開催されました。参加者は9名。晴天に恵まれ、仲間とともにいい汗をかきました。優勝は(株)P・クリーンのH氏でした。次回の開催は来春を予定しておりますが、10回目の開催となる為、優勝カップ争奪戦となります。今から優勝を目指して、ゴルフの腕を磨いておいて下さいね。

そして、午後6時から恒例の秋の懇親会が電気ビルレストランにて開催されました。参加者は総勢24名でした。懇親会ではお互いの親睦をより深めました。



懇親会終了時に全員で万歳三唱！！(電気ビルレストラン)

平成 16 年 8 月 6 日(金)午前 11 時 30 分より富山県鑿井協会総務部会主催による第 1 回昼食座談会が協会事務所にて開催されました。日頃は協会員で議題を決め、会議を進めておりますが、今回総務部会が主催しましたこの度の座談会は、昼食をとりながら行い、テーマに縛られる事なく(テーマは一応設けてありますが)、自由・率直な意見や考えを各々発表し、意見交換しながら、新たな技術や情報について勉強していこうとする大変前向きな企画でありました。当日は協会員全員の参加とはなりませんでした。6 名の参加がありました。以下、一部主な発言をご紹介します。

テーマ : 『古井戸の適正な埋め戻し工法』

迷信的には木をさす。梅と葦の葉を入れて、少し混ぜてやる。

雄山神社に清めた砂(井戸だけでなく、地鎮祭とか浄化槽にも使用)が売っている。砂埋めする。

塩と御神酒でおまじないしてやる。

古井戸の場合、地下環境を守ることが大事である。きれいな砂で戻せば、自然状態と同じになる。

汚染されていない清浄な土砂を地上から 1m~1m50cm の間(細菌が繁殖して自浄作用あるエリア)に埋めてやればそれ以降は浸透していても大丈夫。

岡砂利を掘ったら、きちっと埋め戻さないととんでもない話になる。

井戸から下水道に切り替えをする時、便槽、浄化槽の底を水抜きして、簡単に砂を埋めるだけというのは、まあ、きれいに洗うのが前提であるが、どこまで自然の細菌が分解してくれるものか。

都会では自分のところの雨水をその浄化槽を洗浄し、ためて洗車等に使用し、節水に心がけている。トイレ用としても使っている。

一時的に地表に流出する水が溢れるという都市型洪水が今問題となっている。地下に浸透せずにあふれる。

沖縄の人は水槽を持っている。水が足りないから、宮古島では地下ダムを持っている。ポンプ井戸を掘って使っている。農業用いろいろ使っているらしい。

海水を真水にできるテクノロジーがある。でも、海水だけでは駄目。真水にならない。そこで、地下水を混入し行っているらしい。

地層が砂礫でなく岩盤だと、貯めるということがない。すぐ流れ出してしまう。

* * * * *

和やかな雰囲気の中で、自由闊達な意見が次々と出され、座談会はまだまだ延々と続いていくのでした。

富山県鑿井協会取引企業による自社PRコーナー

『朝日町舎 井戸再生(超高压回転式洗浄)』

朝日町役場の飲用、トイレ、他全ての水を地下水(井戸)でまかなっているが、近頃、井戸の揚水量が著しく減少して再生を行うことになる。

土曜日の午後 1 時まで 1F の受水槽 30t を満タンにし、屋上の高架水槽 4t も満タンにして、翌月曜~火曜で作業する段取りで進む。

しかし、驚いた事に月曜日の朝には水がほとんど無く、町舎の方々はトイレに困り、飲用水も近くのコンビニで買うなど、大変な事になった。水がないとパニックになる。30t 以上の水はどこにいったのか…不思議だ。4t の給水車で補水するものの追いつかず、水の大切さを痛感させられた。

朝からてんやわんやで大変だったが、なんとか再生工事も終わり、水量もビックリするほど改善した。普段、水があって当たり前だが、無くなると大切さを強く感じる出来事でした。

しかし、恐るべし(株)P・クリーンの洗浄力がこの出来事をいい思い出にさせてくれた。

	洗浄作業前	洗浄作業後
自然水位	GL-9.7m	GL-9.7m
揚水量	950ℓ/min	1800ℓ/min
同上揚水水位	24.2m	10.2m
井戸深度	88.9m	97.7m

(株)P・クリーン

〒930-0982 富山市荒川 1 丁目 5 番 37 号

TEL076-445-1661

クリモト

強化プラスチック複合管(FRPM管)

JIS A 5350

(さく井用ケーシングパイプ、スクリーン)

強化プラスチック管(FRP管)

(FRP揚水管)

(二重ケーシング用FRP管)



〈特長〉

- ①電食作用などによる腐食がない。
- ②外圧強度が大きいので、円周方向・軸方向とも、たわみが小さい。
- ③軽量でかつ強度が大きいので、運搬ならびに取り扱いがきわめて容易。

- ④管の接続がきわめて簡単に迅速。
- ⑤酸、アルカリ、海水などに対して、耐食性がある。
- ⑥スクリーンの通水性が大きいので井戸効率が高い。

✕ 栗本鐵工所 グループ

販売店 敦井産業株式会社

栗本化成工業株式会社
http://www.kurimoto.co.jp/

本社 〒550-8580 大阪市西区北堀江1-12-19
TEL06-6538-7701

北陸 〒920-0022 石川県金沢市北安江3-6-6
TEL076-262-2830

〔編集後記〕新潟での地震発生のニュースには度肝を抜かれました。今までの安全神話を覆す新幹線の脱線事故。もう何秒かずれていたらトンネルの崩落に巻き込まれていたといえます。不幸中の幸いだったということらしいのですが…。一時期、避難者の数は 10 万人を超えていたといえます。仮設住宅の建設も進められ、その数は数千人に減ってきているらしいのですが…。協会でも何かお役に立てるよう協力をしていきたいと考えております。

被災地の復興を心よりお祈り致します。

(総務部会)